

正智深谷高等学校特別コラム

Mind Charging

Since 2020

第327回

カール・ヤスパース

の名言

発行：入試広報室

発行日：令和4年10月24日

編集委員：入試広報室 鈴木



今回の言葉

My own freedom can only
exist if the other is also free.

私自身の自由は、他の人もまた
自由であるときにのみ存在しうる。

カール・ヤスパースは、ドイツの哲学者、精神科医であり、実存主義哲学の代表的論者の一人である。現代思想、現代神学、精神医学に強い影響を与えた。『精神病理学総論』、『哲学』などの著書が有名。ヤスパースは、その生涯の時期ともあい合わさって、3つの顔を持っている。

Column

みなさんは『哲学』について説明できますか？私は哲学というものをイメージだけで明確には理解していないことに気づきました。『哲学的』だとか『〇〇さんの哲学』などの言葉から、なんとなくイメージはあるのですが、とても複雑で難しい内容の学問であることは理解できるものの…というレベルです。

私たちは、授業・書籍・インターネットなどから様々な情報を得ることができ、『0から1を探す』ということが容易にできる時代に生きています。それを可能にしているのは今日までの研究者の方々の成果であり、彼らは現在の私たちの生活を成立させてくれる貴重で感謝すべき『0から1を作った人たち』存在だと思えます。ヤスパースは哲学と精神医学の研究者です。両方とも膨大な知識と研究が必要であり、その成果を得るためには“人生を賭けて”というレベルの大変な努力と時間を要したと思えます。そういう意味ではヤスパースは2人分の人生を生きた人であり、2人分の幸せを味わえた人なのかもしれません。

自分が興味を持って努力したことによって人が幸せになることは、自分のことを誇りに思えるような素晴らしいことだと思います。しかし、“好きなことだからこそ”の負担を感じる時もあるはずで、きっとヤスパースほどの人物でも悩んで研究が進まないストレスを感じた時期があったはずですし、みなさんの中にもそんな経験があると思います。努力の最中はストレスがつきもので、目標達成のためには必要なことであることは承知していますが、ストレス軽減は人間のすべての活動において重要な要素だと思っています。今回のコラムを書きながらヤスパースは自分の自由を守るために他の人の自由を先に守ろうという“思いやり”で精神医学を志し、それを自身の哲学としたのではないかと思いました。正智深谷高校のみなさんも、大きな思いやりとエネルギーを持って様々な挑戦を続けることで多くの成功と自信を手に入れてほしいと願っています！